

横浜市立大学附属病院における賞味期限切れジャムの誤配膳について

横浜市立大学附属病院（金沢区福浦3-9）において、令和6年6月9日（日）～15日（土）間に配膳された病院食の中に賞味期限切れのジャムが含まれていたことが判明しました。

患者様には多大なるご迷惑とご心配をおかけし、また、市民の皆様の信頼を損ねる事態となり、誠に申し訳ございませんでした。患者様に提供する食品の厳重な取扱いについて、厳しく指導徹底等を行い、再発防止に努めてまいります。

1 賞味期限切れのジャムを配膳した人数

令和6年6月9日（日）～15日（土）において入院していた患者様のうち、パン食が提供されていた206名。

※当該期間中に複数回パン食が提供された患者様がいらっしゃるため、延べ人数では223名です。

2 経過

令和6年6月15日（土）

- ・昼食配膳にあたり、パン食の患者様にジャムを配膳。
- ・患者様より、配膳されたジャム（個包装）に記載のある賞味期限が超過しているとの指摘を受ける。
- ・配膳状況を確認したところ、昼食にパン食であった192名に賞味期限切れのジャムを配膳していたことが判明。（賞味期限：令和5年11月6日）

令和6年6月17日（月）

- ・6月15日（土）以前に賞味期限切れのジャムを配膳していなかったか業務委託先も含めて調査したところ、6月9日（日）に8名、10日（月）に3名、12日（水）に20名に対して賞味期限切れのジャムを配膳していたことが判明。
- ・賞味期限切れのジャムを配膳してしまった合計206名（延べ223名）の患者様に対して、主治医および看護師からの謝罪を開始。
- ・金沢区福祉保健センターへ事案の報告を行い、立入調査を受けた。

※6月18日（火）現在、体調不良を訴える患者様は発生しておりません。

3 原因

ア 附属病院栄養部内倉庫において配膳用のジャム（個包装のジャムが20個入った小箱）をコンテナで保管する際、ジャムの賞味期限を転記した紙をコンテナに貼付していましたが、誤って実際の年よりも長く記載していました。

イ 誤って転記された賞味期限に基づき、配膳作業を行っていました。

※ 食品の発注・在庫・調理・衛生管理等は、外部の給食事業者に委託しています。

※ 委託契約に賞味期限の確認が含まれていましたが、その手順について明確化されていませんでした。

4 再発防止策

栄養部倉庫内にある全ての在庫食品については賞味期限切れのものが無いことを確認しました。今後、委託事業者に対し、賞味期限の確認の手順を明確化し、徹底するよう指導してまいります。

5 横浜市立大学附属病院 遠藤 格（えんどう いたる）病院長のコメント

この度は、入院中の患者様の健康を預かる立場である当院の食品衛生管理が徹底出来ておらず、皆様にご心配、ご迷惑をお掛けしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。

今後、再発防止の徹底に誠心誠意努力して参ります。